

『輝く雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2018年11月
第75号



ここの仮装は
どう!

第3回定例会.....2

行政報告の後、議案13件を審議しました。陳情2件を審査し意見書を提出しました。

長原議員の一般質問.....5



(旧) 厚生クリニックの解体後の跡地利用が協議されているのかを聞きました。

視察調査報告.....7

出産の不安を解消するための調査を足寄町・遠軽町で研修しました。

平成30年 第3回 定例会 9月13日

を設置し集中審査をするこ
ととしました。

上程された主な議案

◎平成30年度一般会計補正
予算

〈主な内容〉

・障害者福祉費

平成29年度障害者自立支
援給付費国庫負担金等返
還金など
205万円

・国民年金事務経費

国民年金システム改修業
務委託料
98万円増

・子育て支援費事業費

委託養育支援委託料

平成29年度子ども・子育
て支援交付金国庫補助金
等返還金
45万円

18万円

平成29年度障害児入所給
付費等国庫負担金等返還
金
79万円

・子育て医療費

乳幼児及び児童医療費助
成事業費
66万円増

中学生医療費助成事業

88万円増

・環境衛生費

北空知葬祭組合火葬施設
使用料
106万円増

・沼田厚生クリニック運営
費
町立沼田厚生クリニック
損失助成補助金
5546万円

・農産加工場製造費
原材料費
4251万円増

・沼田ダム施設管理事業費
沼田ダム堆砂量測定業務
委託料
497万円

・住宅管理費
緑町団地公営住宅改修工
事
144万円増

・スキー場管理費
修繕費
60万円増

食堂運営業務等委託料
69万円増

・農業用施設災害復旧費
沼田町農地・農業用施設
小規模災害復旧事業支援
補助金
408万円

規約の改正

◎北空知衛生センター組合

北空知衛生センターと北
空知葬祭組合の合併に伴い
規約が改正されました。

◎農業委員の任命

小峯康則氏が新たに任命
され同意しました。

◎教育委員会委員の任命

青木健治氏の三期目の任
命に同意しました。



今回の定例議会の傍聴者は、7名でした。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

表紙の写真

10月27日にトムトム広場で開催
されたハロウィンイベント。
ゆきものがかりのメンバーが、
一生懸命盛り上げていました。



第6回臨時会

8月6日

・専決処分の承認

町道災害復旧費の補正
800万円

・一般会計補正予算

農地道路などの災害復
旧費
2036万円

議決された意見書 第3回定例会

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実と強化を

森林は国土保全など多面的な機能を持っています。

機能を発揮するには「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要があります。

平成31年度に創設される森林環境贈与税（案）を活用した地域の特性に応じた森林整備から木材の加工・流通・利用までの一体的な取り組みに必要な支援措置を求めました。

臓器移植の環境整備を

臓器移植の普及によって、多くの命が救われています。

反面、臓器提供数は大きく下回っていて、ドナーや臓器提供施設が少ないことが指摘されています。

臓器移植を安全で身近なものとして定着させるための啓発の努力、移植コーディネーターの確保、移植施設の医師の負担軽減、臓器売買禁止の厳格化など必要な支援措置を求めました。

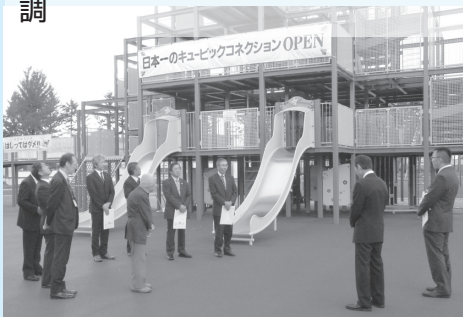
一回は行ってみよう!キュービックコネクション

議員セミナーIN秩父別町 10月12日

秩父別町では、ファミリースポーツ公園基本構想において施設の全体像を示し、昨年4月にオープンした屋内遊戯場「キッズスクエアちっくる」に隣接して、事業費4億円をかけた屋外遊戯場「キュービックコネクション」を建設しました。子供からお年寄りまで運動や健康づくりを楽しむことができる「三世代公園」と位置づけ、メイン施設になっています。

リングラダーやログスロープなど約20種類の豊富なアスレチック遊具が組み込まれていて、大人も子供も楽しめるようになっています。最上部には、小さな鐘が設置されていて、鳴らすときれいな音がしました。

国内最大級の屋外遊戯場です。高さ13m・幅58mの6階層を一辺2mの四角いユニットで構成。構造部材はステンレス製で赤色が基調



町長への一般質問

問 所得の引上げで、労働力確保を

答 町民所得の向上を考えたい



久保 元 宏
議員

あると考えるがどうか。

町長、農業委員会会長に聞きたい。

問

企業誘致の契約が進んでいる中、沼田では過疎化と少子化が進み「働く場所がない」から「働く人がいない」に変わってきています。

現在、立地予定の企業は何社か、労働力は何人必要なのか。

農業においても春作業の労働力の確保が難しくなってきています。すでに町内の企業で外国人労働者を雇用しています。農業と他企業と連携した「沼田型ワークシェア」を町の政策として取り組めないか。

労働力の確保には、沼田町民の所得向上が効果的で



誘致予定企業は、2社で3工場です。

準備中で雇用人数など詳細は決まっています。

将来、雇用を確保するには中高生を含め、沼田の企業を説明して将来の参考になるよう今年度、「仕事、未来応援プロジェクト事業」を進めてゆきます。

沼田町民平均所得は7年間で30万円円上っています。空知管内では1番です。労働力確保には、町民所得を上げる政策が大切だと思います。

農業委員会会長

春先の労働力確保はひっ迫している状況です。JAでは今後、栃木県のJA経済連との連携で労働力の確

保も考えていますが宿泊、労働条件等の整備が必要と言われています。特に冬場の所得を上げるには、6次化、農業の多角化など通年で働ける整備が必要です。

問 厚生クリニックの2年間の成果は

答 計画の策定を受け協議したい



之 範 野 鶴
議員

問

平成29年度の町立沼田厚生クリニックの決算報告がされ、損失額は5540万円と報告がありました。

特に今年度は町立クリニックとして2年目、安心センターでの診療が始まり、期待された年でもあります。その成果を聞きたい。

町立診療所にしたメリッ



企業用地

トは町民の要望を取り入れやすい運営が出来る事と思うが、どのように取り組めたのか。

損失金の軽減に向けた取り組みと改善計画を聞きたい。



町立診療所は指定管理として運営を北海道厚生連にお願いしています。

要望として夜間診療とかいろいろと話を頂いています。医師の確保、看護師の確保など難しい状況です。取り組めるものは、改善を

していきます。

町がすべての事を運営している訳ではないのでご理解ください。

損失金については若干下がりましたが、支出を減らし、収入を増やすよう、厚生連に努力して頂いています。

中期計画は病院の方で策定中で、3月に出来そうです。それを受けてどのような病院経営にするか協議して行きたい。

地域の医療機関として、かかりつけ医として信頼関係を築いていきたい。



クリニックの窓口

問 高齢者福祉住宅の建設を

答 補助財源を確保してから



高田 勲
議員

問 平成29年度の財政健全化4指標が報告されました。沼田町の「実質公債費比率」は1.1%となり、財政健全化の道を歩んでいます。

平成17年に作成した「我が町再生プラン」は、町民にとって痛みの伴うものでしたが、現在の財政状況に大きな影響を与えました。コンパクトエコタウン構想を考えたとき、次に必要なのは「福祉サービス付きの高齢者住宅」だと考えます。

民間企業が参入しにくい分野の住宅であることから、財政状況が良好に推移している今こそ建設計画を推進するべきと考えるがどうか。



「我が町再生プラン」は当時の議会の中でも賛否があったと認識していますが、町の財政状況に大きな影響を与えたことは事実だと思います。今回報告をした実質公債費比率は1.1%でしたが、次年度から「まちなか」や「安心センター」の建設などのために起債した過疎債の償還が始まります。

「我が町再生プラン」は当時の議会の中でも賛否があったと認識していますが、町の財政状況に大きな影響を与えたことは事実だと思います。今回報告をした実質公債費比率は1.1%でしたが、次年度から「まちなか」や「安心センター」の建設などのために起債した過疎債の償還が始まります。



福祉サービスの付いた高齢者住宅を

26年度からの3年間で14億円余りあります。

地方交付税も減少傾向にあり、これらを見据えた中で財政計画を進めなければなりません。

施設の建設は、有効な補助財源を確保してから慎重に行いたいと考えています。

問(旧) 厚生クリニック跡地は

答 第6次計画策定で考えたい



長 原 誠
議員

問 現在、沼田町第6次総合計画の策定に向けて取組が行われています。

高齢者ハウスの建設など、コンパクトエコタウン構想の計画を基本に検討を進めて行くと思いますが、(旧)厚生クリニックの建物の場所

は市街地の中心にある町有地です。跡地には町民も関心を持っています。

消防車両の大型化や装備

実質公債費比率

自治体の実質的な借金が財政規模に占める割合のことで、数値が高いほど返済の負担が重いことを示します。

備品の充実に伴い消防施設を望む声も聞かれます。

計画策定の中で跡地利用が検討協議されているのか、当面現状のままなのか、施設の建設には、計画、設計、建設と時間を要します。

跡地利用も計画に乗せるべきと思うが考えを聞きたい。



7月の豪雨
9月5日に暴風災害、6日には地震による停電の際に災害



(旧)厚生クリニック

対策本部を立ち上げ、総務財政課を拠点として対応しました。

情報の収集、公開など多くの反省点がありました。消防、開発局、警察からさまざまな情報をいただきました。その中で、充分に係機関と協議する場所がありませんでした。町民の安心、安全を考える上で、防災センターが必要だと思います。第6次の総合計画を策定中ですので、考えていきたいと思っています。

問 既存施設の利用率向上を

答 利用しやすくしたい

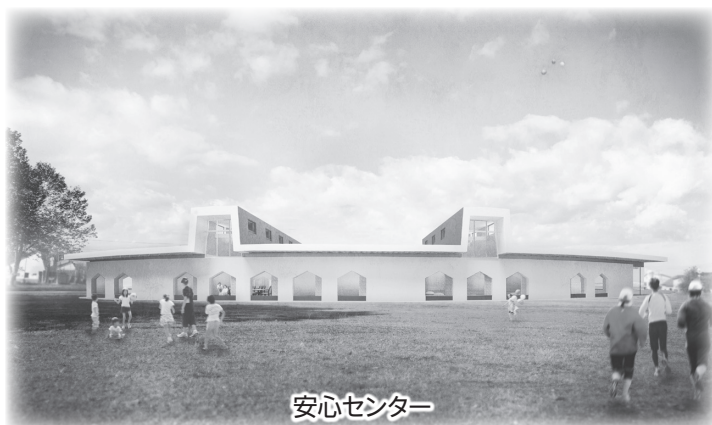


小 峯 聡
議員

問 安心センターなど新しい施設ができてから人の流れが変わり、いろいろな事業展開がされてい

ますが、既存施設での事業が減っているのではないのでしょうか。事業が他へ移っても新たな事業が行われないためだんだん利用者が減っている状況です。また、時代の変化によって施設の利用の仕方も変わっています。

その施設の特徴を活かし、年齢、性別などターゲットを絞った利用方法を考えて、利用率の向上を図るべきではないかと思うので、考えを聞きたい。



安心センター



各施設、適材適所でのような行事を行うか、集まり方や、人数などの状況をふまえ事業を考えたい。また、既存

の事業の統廃合なども含め利用のしやすいように、来年度に向けて検討課題したいと思います。

問 水道事業の民営化に反対

答 見極めて対応したい



橋 場 守
議員

問 水道法改正案の成立が先送りされました。

水道の位置付けについてしっかりと考えた方を持つべきだと思います。水道法では「水道を計画的に整備し、及び水道事業を保護育成する」とあるところを改正案では「水道の基盤を強化すること」と短くしました。水は商品ではなく、水道は国民共有の福祉事業であり、国が責任を持ち水道事業の財源及び職員の充実を図るのが、本来であります。

次に、水循環基本法では、「水が国民共有の貴重な財産であり、公共性の高いものであることに鑑み、水については、その適正な利用が行われるとともに、全て

の国民がその恵沢を将来に渡って享受出来る事が確保されなければならないこと」になっています。憲法に保障されている生存権の問題と、水道の問題は直結すると思います。国がやるうとされている民営化に、反対をすべきと思うがどうか。



この件については私も報道番組で聞いて、本当に大変だと言う印象を受けました。沼田町の水道事業は、広域で行なっていていますから、そんな心配はないと思いますが、この問題の本質は、どこにあるのか見極めたいと思います。しっかりと水を守るということは、国の責務だと思います。



広域水道企業団

**問 社会的養育の推進を
答 必要があると認識**



大 沼 恒 雄
議員

問 子どもの虐待が年々上昇している傾向にある中、虐待の治療が終わっても長期にわたり、退院の出来ない子どもがいる事が判明しました。

厚生労働省は29年8月に新しい社会的養育ビジョンを策定し、未就学児の施設入所の原則停止と包括的な里親支援（ホスティング機関事業）の整備をする方針を示しました。

推進に向けては、地方公共団体の責務として、平成32年までに家庭と同様の環境における養育の推進等を明記しています。

「子ども達の命を救う」ことに取り組む行政の意識がこれからの施策につながると思うので考えを聞きたい。

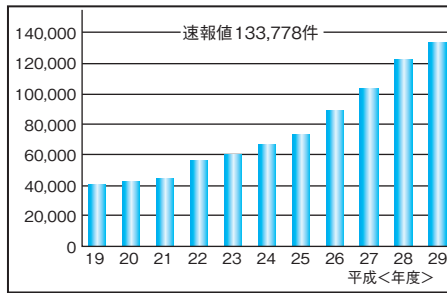
町の役割として、養育支援訪問事業を通じて、取り組んでいきたい。

さまざまな家庭がある中、対応していかないと子育てに優しい町にならないと思います。

関係機関と連携を取りながら、この問題に取り組んで行く必要があると認識しています。



ストップ!虐待



児童虐待相談対応件数の推移

**産建福祉常任委員会
所管事務調査報告
10月9日～10日**

**テーマ
更なる
子育て環境の充実**



沼田町は子育てで日本一を目指して子育て政策を行っているが、深川、滝川での出産ができない環境にある。近くても旭川、砂川まで行かなければならない。出産の不安を解消するためにどのような行政の支援が必要なのか調査した。

足 寄 町（十勝管内）

- 1、子育て応援出産祝い金贈呈事業
 - ・第1子及び第2子は10万円第3子以降は20万円
- 2、妊産婦通院交通費等助成事業
 - ・交通費出生前14回、出産直前1回、出生後1回 1回につき2,450円
 - ・宿泊費 5泊分まで 1泊5000円を上限
 - ・新生児聴覚検査 初回1回分5400円を上限とする
- 3、不育治療に対する治療費助成
 - ・1回の治療・検査に対する助成上限額15万円



遠軽町議場にて

足寄町、遠軽町においては子育て支援事業としてこの他にも多くの事業を行っています。今回は出産に関する事業だけを記載しております。

遠 軽 町（オホーツク管内）

- 1、妊婦健康診断および出産時に係る交通費等の助成について
 - ・妊婦1人につき14回の受診票と超音波検査の受診票を発行
 - ・妊婦健康診査に備え町外の宿泊施設に宿泊した場合1泊5000円を上限とし1妊娠1回限り
 - ・出産に備え町外の宿泊施設に宿泊した場合1泊5000円を上限とし3泊を限度とする
- 2、ママさんメモ（緊急用）
 - ・母子手帳に挟んで緊急時に救急隊員が妊婦の状態を素早く把握できるメモ



総務民教常任委員会 所管事務調査報告

民俗資料の活用

委員長 久保 元宏
副委員長 鶴野 範之
委員 杉本 邦雄
大沼 恒雄
高田 勲

報告書

1) 『沼田町ふるさと資料館』を沼田町の文化コンテンツ・センターに

沼田町には化石、ほたる、夜高などの文化や、炭鉱、農業などの産業、小矢部市やカナダのポート・ハーディなどとの交流、さらには生活などの数多くの文化コンテンツがある。しかし、それらの統合が無いまま全体のパワーになりきっていないもったいなさがある。『沼田町ふるさと資料館』が全体の中心となり、愛郷心や観光にも活用できるモノと情報の活用を推進すべきである。

3) 公共施設の空きスペースの活用

上記の過程で得たソフトのスキルを発揮する場こそが、資料館である。

今こそ町全体の公共施設の活用を考えたい。沼田町は昨年に複数の施設を開設した結果、過去の施設の利用が下がっている。一方で現在の『沼田町ふるさと資料館』は、天井の崩壊による施設と資料の保管に不安がある。この両者の状況を合わせ、短期的に沼田町民会館など利用の下がった施設に民俗資料を学芸員と町民ボランティア組織により移動し、整理し、中長期的に次の事業の計画に入ることが効果的である。

沼田町は124年の歴史があり、それを記憶する民俗資料が『沼田町ふるさと資料館』にある。しかし、利用者の減少、新築や改修の優先順位の低さから平成28年から閉館したままである。1200点を超える収蔵品を閉館による事業の停止では、先人と次世代を繋ぐ文化と歴史の継承がなくなる。今後の民俗資料の活用、保存、もしくは合理的な廃棄、解体を含め考えをまとめた。

2) 学芸員ネットワークと、町民ボランティア組織の充実を図る

すぐれた学芸員こそが、すぐれた資料館そのものだ。しかし、学芸員への過度な期待は持続性をゆるがす。そこで、道内外の魅力的な学芸員たちとのネットワークを構築し、アドバイザー制度を導入するなどをして、ノウハウの流動をシステム化すべきだ。

さらに、そこに町民ボランティア組織をからませ、資料の整理から展示や研究のアイデアなどを常に更新してゆく過程で、コミュニケーション能力を発揮し、広く町民を巻き込んでゆく環境が必要だ。

学校の単位への、学芸員と町民ボランティアの活用も行う価値がある。



沼田町ふるさと資料館

要望の内容

農林水産省

- ・農業の振興及び農業農村の整備
- ・自由貿易協定に対する対応

厚生労働省

- ・地域医療の充実確保

国土交通省

- ・ＪＲ北海道の経営再建支援

北空知議会議長連絡協議会による 中央要望活動が行われました

8月7日から9日まで、北海道選出の国会議員と中央省庁に要望活動を行いました。

本町からは久保議員、鵜野議員が参加しました。



この要望活動は、北空知1市4町から2名ずつ選出された議員10名で構成されています。地域が抱える課題を国会議員や中央省庁に直接届け、地域の実情を理解して頂くために毎年行われています。初日は江戸川区役所で「子どもの成長支援」について研修を行いました。2日目には渡辺孝一、稲津久、神谷裕衆衆議院議員をはじめ、道内選出の参議院議員に要望書を提出しました。その後、農林水産・厚生労働省にて地域の実情を訴え意見交換を行いました。

沼田町議会広報特別委員会 視察研修

委員長 大沼 恒雄
副委員長 小峯 聡
委員 高田 勲
長原 誠
鵜野 範之

常任委員会の取組について聞く

8月21日、白老町議会広報、広聴常任委員会の氏家委員長に、常任委員会設置の経緯と取組を聞きました。

この委員会の所管は行政組織に対するものではなく、町民に対しての広報、広聴を行うことを基本に、通年において、議会報告会、議会懇談会、出前トークを実施し、分科会で協議し、総務文教、産業厚生両常任委員会を通じて町に政策提言しています。

町民との活動内容の検討、広報誌の編集、発行を行い、定例議会で報告しています。



住民に伝わる広報を目指して

8月22日、ポールスター札幌において、北海道町村議会議長会主催による議会広報の研修会に参加してきました。全道より103町村、525名の議会広報担当議員、職員の参加で開催されました。

講師には、広報コンサルタントで全国広報コンクルの審査委員をされている芳野政明氏による「住民に読まれ伝わる」議会広報の基本と編集について話されました。

広報の大きな目的は、自治体の政策、行政サービス、地域の情報を通じて住民に行動を「促す」ことが大切とされていました。

そのためには、「伝わる」ための編集、レイアウト、見出しなど思わず読みたくなる内容にするよう話されました。

研修に続いて、全道、10町村より出されていた議会広報をクリニックしました。



皆さん、元気です

退任議員親睦会

10月17日、金平町長をはじめ、町三役が来賓で出席され、山木一男会長の挨拶で始まりました。

先輩議員から「これからも、町民のためになる町づくりをして下さい」とお言葉を預かりました。
町民の皆様に取り添うこ

とを心掛け、一層の精進をいたします。



先輩と一緒に

郷古さんの司会で

自治振興協議会

10月29日、石田隆広会長をはじめ協議会の役員さんと意見交換をしました。

今回で4回目になります
が、各行政区の意見・要望の中から重要な案件を協議します。

大切な意見を、多数いただきました。



自治振の皆さん

あとがき

胆振東部地震で被災された地域の皆様に、心からのお見舞いを申し上げます。

今回の地震は、北海道で初めて観測された震度7の地震で、余震は300回を越えています。

直後の北海道全域の停電は2日間にわたり、皆さんもご苦労なされた事と思います。

ただ、冬でなかったこと、厚真発電所が原子力でなかったことは幸いだったと思っています。

さて、卓球女子・伊藤美誠選手が世界ランキング1位の選手を破り、国際大会で優勝しました。

18才の若い選手が世界に立ち向かう姿勢は素晴らしいと思います。

私たちも、あきらめないで、進む道を大切にしましょう。

広報特別委員

大沼恒雄 高田 勲
小峯 聡 長原 誠
鵜野範之

みんなの広場

「繋がり」

沼田町地域おこし協力隊 有害鳥獣駆除員 早瀬拓也



平成28年の5月に東京から移住し、農業支援員として活動を始め、米作りを学びながら獣害を実際に目にし、想いを膨らませながら、12月に有害鳥獣駆除の活動を開始しました。活動を初めた頃は、町内を毎日駆け巡りながら、無我夢中に捕獲に従事していたの思い出します。クマの出没が続き、弱気になることもありましたが、山菜やキノコ採りに誘って頂いて、山の魅力を改めて感じたこともありました。

私は沼田町に来て、多くの方々と出会い温かく接して頂いたことをとても感謝しています。ここまで活動が続けられたことも、社会人として日々成長させていただいているのも皆様のおかげだと感じています。これからも、この街に住み続けお世話になった方々と一緒に過ごしたいという気持ちになりました。獣害対策という、農業はもちろんのこと、安心で安全な生活のためには切り離せないこの問題を、私は時間をかけて町民の方々と協力していきながら、守っていきたいと考えています。

